

あわくぼ はやし あわくぼ はやしだい あわくぼ よいしだ
栗窪・林遺跡 / **栗窪・林台遺跡** / **栗窪・四石田遺跡**

伊勢原市 No.71 / 伊勢原市 No.165



1. 栗窪・林遺跡 C1号掘立柱建物跡 (東から)



2. 栗窪・林遺跡 C2号道状遺構 (南から)



3. 栗窪・林遺跡 東側半分奈良・平安時代全景 (西から)



4. 栗窪・林遺跡 H12号竪穴住居跡遺物出土状況 (東から)

● 主な調査成果

栗窪・林遺跡の中世、奈良・平安時代の調査成果を紹介します。

南向きの斜面地を段切りして造り出された平坦地で中世の掘立柱建物跡が発見されました。1間×8間の東西方向に細長い建物で、形状から馬小屋の可能性が考えられます。調査区の東端では、台地の斜面を溝状に掘削して造られた中世の道が見つかりました。東側には現代の道路があり、中世から現代に至るまでほぼ同じ場所を道として利用していたことが明らかになりました。奈良・平安時代の遺構は、竪穴住居跡や掘立柱建物跡などが発見され、集落が営まれていたことが判明しました。竪穴住居跡からは、7世紀～10世紀代の遺物が出土していますが、約8割は9世紀～10世紀代の遺物でした。

● 調査期間 2010年10月1日～2014年6月30日、2014年8月1日～9月15日、2016年5月1日～6月30日、2017年12月1日～2018年5月15日

● 事業者 中日本高速道路株式会社

● 調査原因 新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

● 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文、旧石器

● 所在地 伊勢原市栗窪地先

● 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北方約2kmの台地上および低地際

